

### 「健康経営について」

生活習慣の乱れや種々のストレスが蔓延する中、職員や職員家族の健康管理は、色々な業種にとって大きな課題となっています。健康経営は、従業員の健康づくりを積極的に行うことで、生産性・収益性を高めていくという考え方で経済産業省が中心となり積極的な普及活動を展開しているものであります。特に昨今では優秀な人材の維持・確保にも極めて有用であると言われております。

また、北海道では「北海道健康増進計画 すこやか北海道21」において、健康寿命の延伸を目指すとともに地域などの違いによる健康格差の縮小の実現を目指し、道民の健康増進を総合的に推進しています。

こうした状況から、新型コロナ禍の渦中ではありますが、当院も東京海上日動火災保険(株)のアドバイスを受け、より一層健康づくりを推進するため健康経営に取り組むことを宣言した事業所として、棚澤院長をリーダーとし、総務に事務局をおいて、「健康宣言」を行い3つの健康メニューについて取り組んでいきます。

### 「健康宣言」

社会医療法人延山会北成病院は、患者様に安全で良質な医療を提供するために、日々研鑽を積み、職員本人や職員家族が、心身の健康を大切にできる限り長く、生き生きと働き続けることができる職場環境の整備に取り組んでいき組織一体となって地域社会に貢献することを目指すことを宣言します。

当院のホームページでの周知を行います。

①職員一人ひとりが自律的に健康を管理して、新型コロナを避け、さらなる健康増進に取り組めるよう支援します。※定期健診受診率 100%を保つ

②適切な働き方（ワークライフバランス）の実現に向けて取り組みます。

※有給休暇取得率の目標値 50%をめざす。

③新型コロナのリスクを避けながら、可能な限り職員のスポーツ活動参加の応援をします。

※スポーツ大会（個人・団体）参加への支援・援助